

だい ぶ かだい  
第5部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持参ください。

だい かい  
第15回  
まいにち にゅうりよく  
毎日パソコン入力コンクール  
しゅう き たいかい  
秋季大会  
か だい  
【課題】  
だい ぶ わぶん しょうがくせいとい ちゅうがくねん  
第5部 和文A 小学生低・中学年  
ことわざ・慣用句①  
せいげんじかん ぶん  
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

さんこうぶんけん しょうがくかん かんようく じてん もじすう じていど  
※参考文献：小学館 慣用句びっくりことば事典（文字数1,400字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ  
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりよく  
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい  
るため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど  
おりに入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりよくけんていいいんかい  
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援

そうむしょう  
総務省

もんぶかがくしょう  
文部科学省

こうせいろうどうしょう  
厚生労働省

けいざいさんぎょうしょう  
経済産業省ほか

ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく  
1行28字詰で、つぎの文章を入力してください。

※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。

れきしはくり返す 

そなえあればうれいなし 

わらう門かどには福ふく来きたる 

馬うまの耳みみにねんぶつ 

頭あたまかくしてしりかくさず 

きつねとたぬき 

へそで茶ちやをわかす 

おににかなぼう 

ねこに小こばん 

るいは友ともをよぶ 

こいのたきのぼり 

さるも木きからおちる 

てんさいはわすれたころにやってくる 

まな板いたのこい 

のこりものには福ふくがある 

立つ鳥とりあとをにごさず 

にがした魚さかなは大きい 

目は口くちほどにものを言う 

親したしきなかにもれいぎあり 

えびでたいをつる 

ふくろのねずみ 

花はなよりだんご 

身みから出でたさび 

ぬかにくぎ 

ゆだんたいてき 

かえるの子こはかえる 

つるのひとこえ一声 

病やまいは気きから 

ちりもつもれば山やまとなる 

人ひとのふり見みてわがふり直なおせ 

すずめのなみだ 

くさいものにふたをする 

昔むかしとったきねづか

せいてはことをしそんじる

とんびにあぶらあげをさらわれる

ももくり三年さんねんかき八年はちねん

ほねおりぞんのくたびれもうけ

来年らいねんのことを言いえばおにがわらう

六十ろくじゅうの手習てならい

なきつつらにはち

よいっばりの朝あさねぼう

りょうやくは口くちににがし

石いしの上うえにも三年さんねん

けんえんのなか

うでをふるう

自分じぶんの力ちからやうでまえを十分じゅうぶんに表あらわす。

イラストのとくいなかれば、学級新聞がっきゅうしんぶんでうでをふるっている

。

こしがひくい

人ひとにたいしていばったりせず、いつもていねいであいそがよ

い。

こしのひくい町長ちょうちょうさんは、町まちの人ひとびとから親したしまれている。

したつづみをうつ

おいしいものを、よくあじわうようす。

母ははの手て作つくりのケーキをしたつづみをうちながら食たべる。

元もとも子こもない

損そんをして、何なにもかもなくしてしまう。

練習熱心れんしゅうねっしんなのがいいが、練習れんしゅうしすぎて、体からだをこわしては、元もと

も子こもないよ。

くぎをさす

まちがえないよう、あいてにきちんとたしかめ、もういちど  
ちゅういする。☞

ぼくはしゅくだいをよくわすれるので、明日こそわすれない  
ようにと、くぎをさされた。☞

☞

いじをはる☞

自分の考えを、どこまでもおし通そうとする。☞

妹はこまっているのに、いじをはって、しゅくだいの助けを  
ことわっている。☞

☞

気がきく☞

細かいところに心が行きとどく。☞

新聞と一緒にろうがんきょうを用意するとは、よく気がきく  
まごだね。☞

☞

きもにめいじる☞

心にふかくきざみつけてわすれない。☞

先生にしかられたことはきもにめいじて二どとくりかえさな  
いぞ。☞

☞

頭が痛い☞

心配ごとあって、頭が痛くなるほど思いなやむ。☞

飼育係になったが、メダカの世話がむずかしくて頭が痛い。☞

☞

馬が合う☞

おたがいにきもちがよく合う。☞

わたしとかずこさんとは馬が合って、しゅくだいやあそびを  
いつもいっしょにするなかだ。☞

☞

馬力をかける☞

いちだんとがんばってしごとをする。☞

そつぎょうせいさくのレリーフは、もうすぐかんせいなので  
、さらに馬力をかけよう。☞



こしが強い

がまん強くねばり強い。すぐに負けたり、よわねをはいたりしない。



かれはこしが強いから、こんどの研究も成功するにちがいない。



手とり足とり

たいへんていねいに教えること。

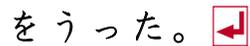


親せきの大学生に手とり足とりべんきょうを教えてもらった。



ひざをうつ

はっと気がついたことがあったり、かんしんしたりするときのようす。



じっと考えこんでいた兄は「わかった」と大声を出し、ひざをうった。



ずにあたる

計画や予想が思ったとおりになる。

新しいお店の計画が、ずにあたって大せいこうをおさめた。



おねをなでおろす

心配ごとがなくなり、ほっとする。一安心する。



せいせきが心配したほど下がっていなかったなので、おねをなでおろした。



せわをやく

すすんで人のめんどうをみる。力をかす。

友だちのいもうとのせわをやく。